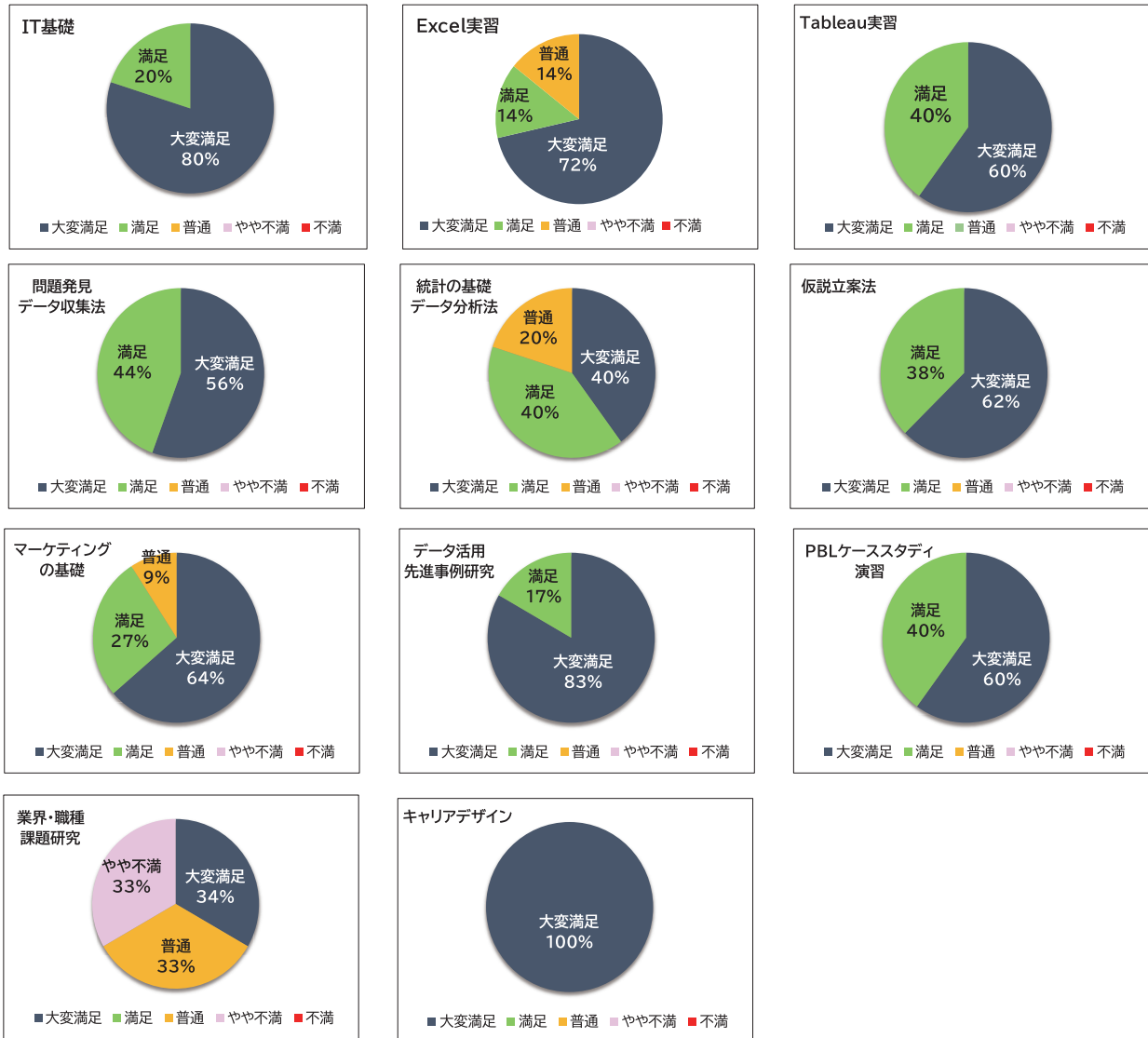


2. 受講者アンケート結果

◆DX 分野リテラシープログラム 終了時「受講者アンケート」結果

○回答数:12名(男性8名・女性4名)

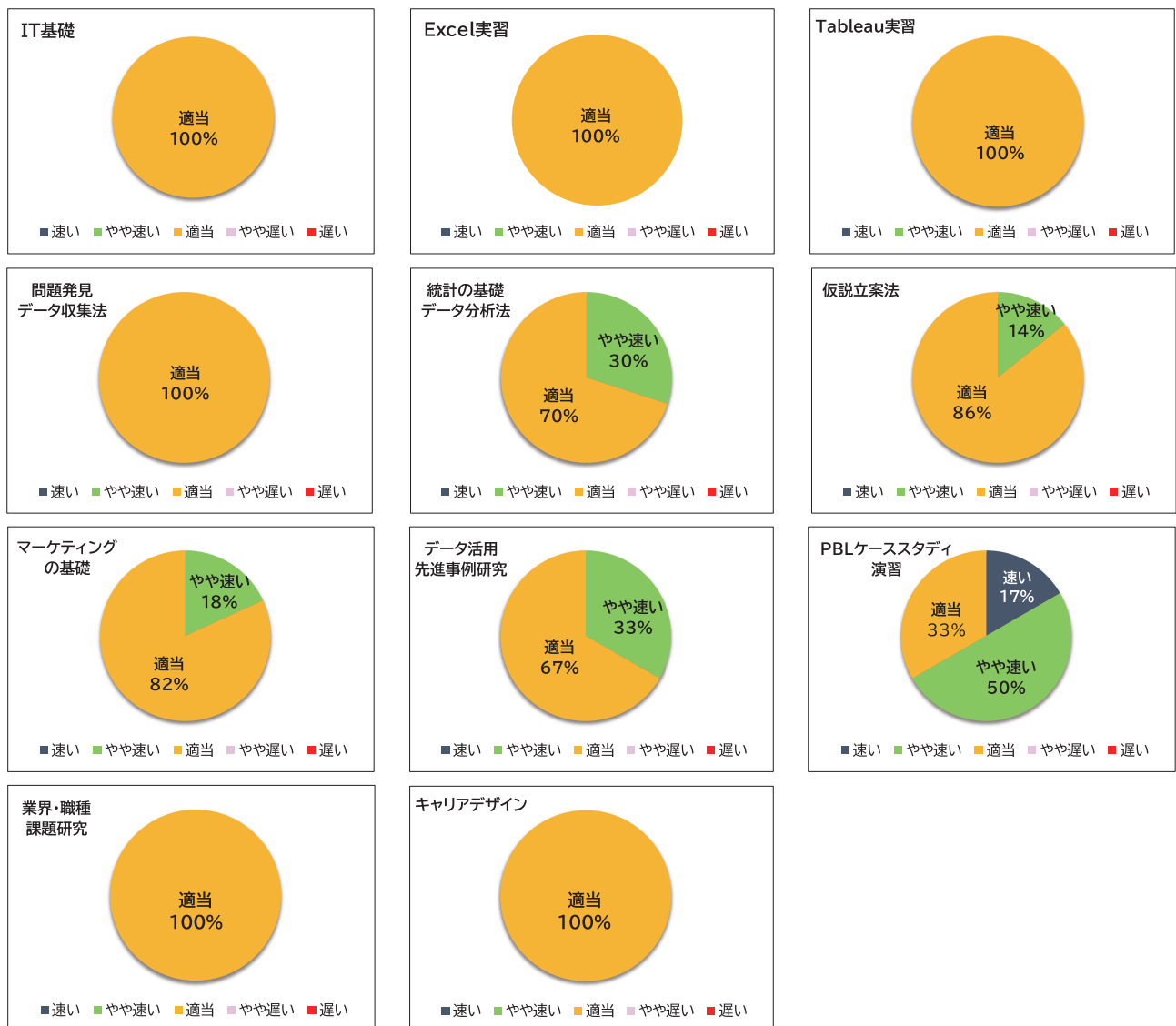
1 授業満足度 (目標値 肯定的評価 80%以上)



全体的には、概ね肯定的な評価となった。

- ・ 肯定的評価(大変満足・満足)は92%となった。
- ・ 業界職種・課題研究の1名の方が、メールのやり取りで不満を感じたようである。(コメント欄参照)

2 授業進度(速さ)



全体的には、概ね適当な進度であったとの評価となった。

- ・ プログラミング(Python)の内容で、苦労した方が数名おられた。
- ・ 業界職種・課題研究の1名の方が、メールのやり取りで不満を感じたようである。(コメント欄参照)

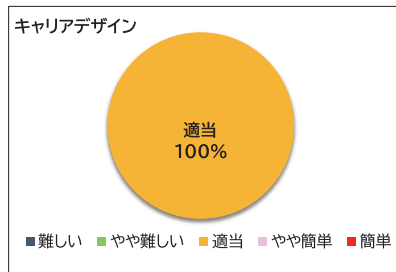
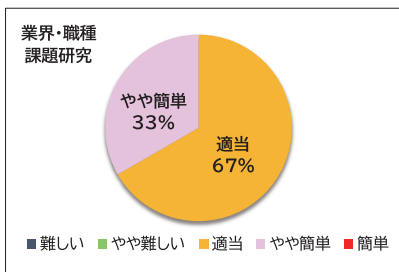
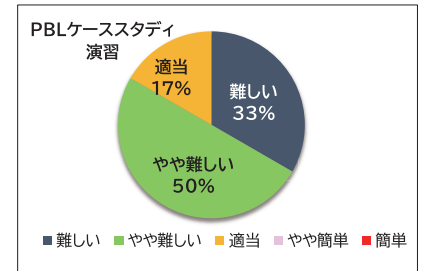
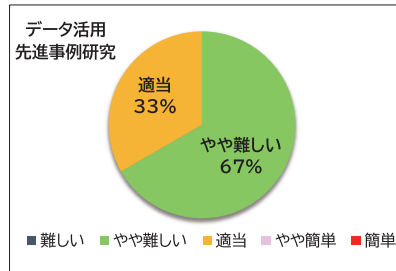
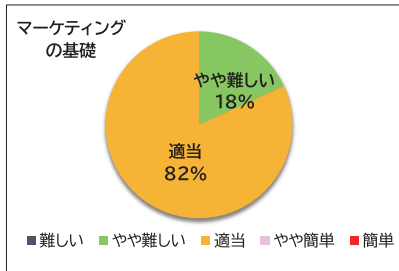
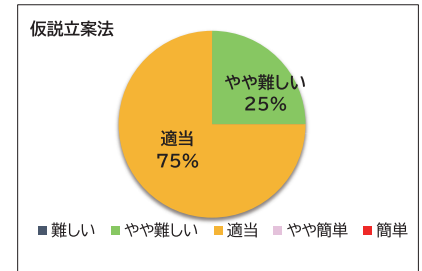
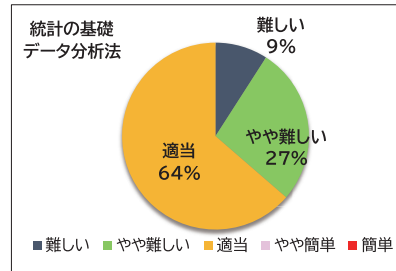
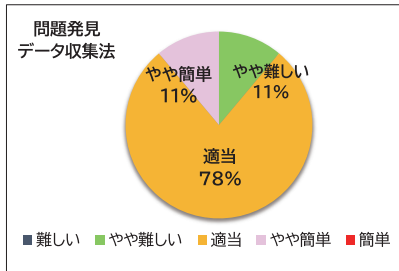
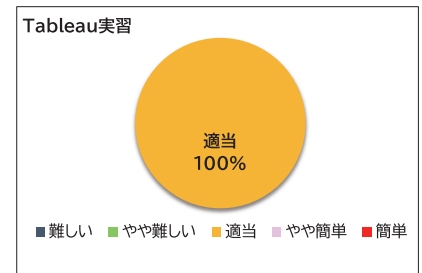
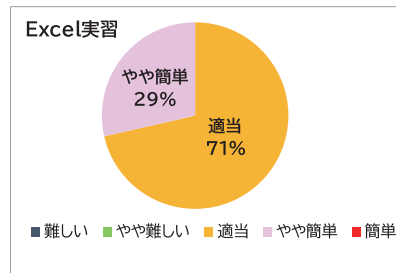
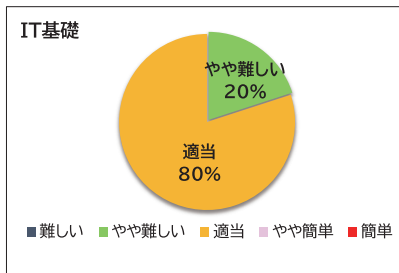
3 授業時間(長さ)



全体的には、概ね適切な授業時間(長さ)であったとの評価となった。

- ・ Tableauについては、ライセンスの問題で2.5時間(1回)の実施だけとなっていたので、もう少し学習したかった要である。
- ・ PBLケーススタディ演習は、内容が盛りだくさんであったためもう少し学習したかったようである。

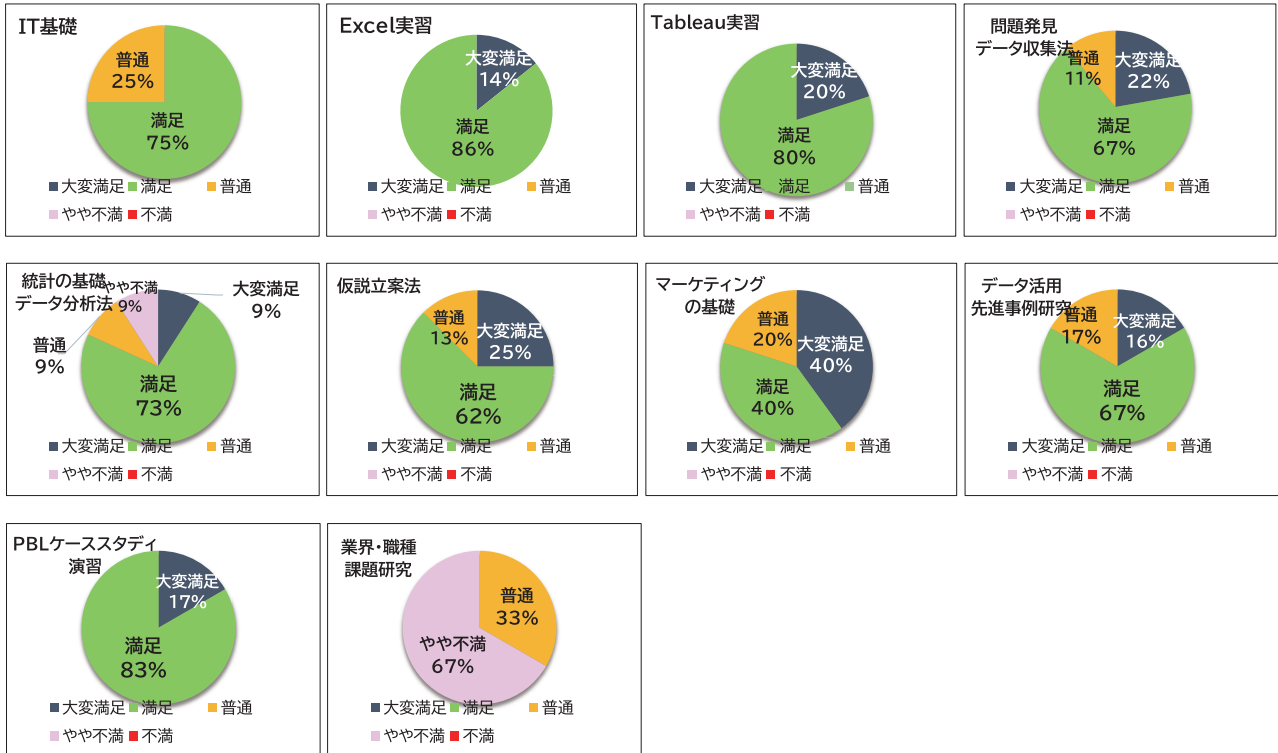
4 授業の難易度(むずかしさ)



難易度については、科目ごとに分かれる結果となった。

- ・ 統計の基礎については、苦手とされている方が数名おられた。苦手であればこそ受講したかったとのこと。
- ・ PBLケーススタディ演習は、プログラミング(Python)の部分が難しかったようであるが学習意欲は高かった。

5 教材について



教材については、一部科目を除き、概ね肯定的な評価であった。

- ・ 業界職種 課題研究については、11月生において、質疑応答がメールになったことへの不満である。
- ・ 1月生においては、対面を基本としたため不満はなかった。

◆IT 基礎

- ・ 全く未知の世界の話も聞けて新鮮だった。(ビックデータ等)

◆Excel 実習

- ・ Excel の基本が身につきました。
- ・ 基本的な操作方法が分かった。

◆Tableau 実習

- ・ 1 回だけの講義だったのが残念だった。
- ・ Tableau については、全く知らなかったなので、興味深かった。

◆問題発見 データ収集法

- ・ 問題発見の視点や発想の重要性が分かった。
- ・ 問題とは何か、考え方が分かった。
- ・ 課題解決よりも問題発見が重要なことが良く分かりました。

◆統計の基礎 データ分析法

- ・ 苦手な分野ですが学べて良かったです。
- ・ 計算や考え方が難しかった。
- ・ 様々な統計手法を学べたので良かった。

◆仮説立案法

- ・ As is To be など詳しい言葉で分かり易かった。
- ・ 仮説には多くの視点が求められることが分かって良かった。その分大変です。

◆マーケティングの基礎

- ・ 企業の考え方や戦略についていくつもの方法があることが分かった。
- ・ 言葉の一つ一つが深かった。どこの誰の言葉なのか書かれていたので良かった。
- ・ 仕事はもちろん、自分自身のマーケティングについても見直しができるきっかけになりました。

◆PBL ケーススタディー演習

- ・ 自分のレベルが低すぎて足を引っ張って申し訳なかった。
- ・ プログラミング(Python)はとても便利なシステムだと思った。もっと深く勉強したかった。
- ・ プログラミング 新たな問題解決手法が学べたことで、新しい改善手段を何かに役立てたいと思います。

◆データ活用先進事例研究

- ・ データの使い方、種類、考え方が分かった。
- ・ 授業の後に伊沢先生と色々な話ができとても良かった。

◆業界職種 課題研究

- ・ 今後の就職活動において具体的なアドバイスがいただけ助かりました。
- ・ メールでの対応部分については、不明点のラリーが続いたことが残念だった。

◆キャリアデザイン

- ・ キャリアを築く中で、どのように考えれば楽に生きやすくなるか分かった。